

【医療職・事業主・産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等用】

2022年度産業保健研修のご案内(2022年8月～2022年9月)

島根産業保健総合支援センターでは、看護職・産業保健・労働衛生業務等に携わる皆様を対象に研修会等を開催しています。産業保健に関係するすべての方に対し専門的かつ実践的能力の向上を図ることを目的に実施するものです。新型コロナウイルス感染状況及び申込者が少ない場合など、研修会を中止する場合がありますのでご了承願います。

番号	日時	テーマ	講師・研修内容	会場	定員
16	8月4日 (木) 14:00～16:00	化学物質のリスクアセスメント	・山崎 雅之 産業保健相談員(島根大学 人間科学部 身体活動・健康科学 准教授) 化学物質の暴露対策として、リスクアセスメントは重要である。簡易なリスクアセスメント手法として、コントロールバンディングがあるが、これはILO(国際労働機関)が、有害性のある化学物質から労働者の健康を保護するために、簡単に実用的な手法を取り入れて開発した手法です。厚生労働省版コントロールバンディングは、この手法をわが国で簡易的に利用できるようにウェブシステムとして開発されたが、各企業の工場現場での有効な活用法は深く浸透していない。そこで厚生労働省版コントロールバンディングの活用法について紹介する。	労働会館 【松江市】	25名
17	8月18日 (木) 14:00～16:00	メンタルヘルス対策と産業医の役割	・塩飽 邦憲 産業保健相談員(塩飽労働衛生コンサルタント事務所 所長) 世界経済フォーラムは、2021年1月に「グローバルリスク報告書2021年版」を公表しました。今後10年間に発生するリスクとして15～24歳の「パンデミアル(Pandemics: パンデミックを生きたる15～24歳世代)」が取り上げられている。この世代は、世界金融危機、新型コロナウイルス感染症拡大という2度の世界的な危機により社会的、経済的な衝撃にさらされ、コロナ禍で「世界中の子どもおよび若者の80%はメンタルヘルスが悪化している」とのデータを紹介し、リスクを最小化するための国際的な対応が必要と強調している。内閣府の調査でも自粛生活でコロナ疲れを「感じる」「やや感じる」と答えた人は7割を超え女性や若者の自殺も増えている。コロナ禍で増加する青年のメンタルヘルス不全について、事例を中心に紹介する。	出雲市市民会館 【出雲市】	25名
18	8月25日 (木) 14:00～16:00	労働衛生行政の動向について	・鈴木 一聡 (島根労働局 労働基準部 健康安全課 課長) 最近の労働災害や本年度が最終年度となった島根第13次労働災害防止計画の進捗状況をはじめ、令和3年4月1日に施行された放射線業務従事者の眼の水晶体に受ける等価線量の限度の引き下げ等電離放射線障害防止規則の改正、令和4年4月1日に施行された石綿の事前調査結果等の報告制度等石綿障害予防規則の改正と、働き方改革で進める治療と仕事の両立支援対策について解説する。	労働会館 【松江市】	25名
19	9月3日 (土) 14:00～16:00	化学物質のリスクアセスメント	・山崎 雅之 産業保健相談員(島根大学 人間科学部 身体活動・健康科学 准教授) 化学物質の暴露対策として、リスクアセスメントは重要である。簡易なリスクアセスメント手法として、コントロールバンディングがあるが、これはILO(国際労働機関)が、有害性のある化学物質から労働者の健康を保護するために、簡単に実用的な手法を取り入れて開発した手法です。厚生労働省版コントロールバンディングは、この手法をわが国で簡易的に利用できるようにウェブシステムとして開発されたが、各企業の工場現場での有効な活用法は深く浸透していない。そこで厚生労働省版コントロールバンディングの活用法について紹介する。	いわみーる 【浜田市】	25名
20	9月15日 (木) 14:00～16:00	メンタルヘルス対策と産業医の役割	・塩飽 邦憲 産業保健相談員(塩飽労働衛生コンサルタント事務所 所長) 世界経済フォーラムは、2021年1月に「グローバルリスク報告書2021年版」を公表しました。今後10年間に発生するリスクとして15～24歳の「パンデミアル(Pandemics: パンデミックを生きたる15～24歳世代)」が取り上げられている。この世代は、世界金融危機、新型コロナウイルス感染症拡大という2度の世界的な危機により社会的、経済的な衝撃にさらされ、コロナ禍で「世界中の子どもおよび若者の80%はメンタルヘルスが悪化している」とのデータを紹介し、リスクを最小化するための国際的な対応が必要と強調している。内閣府の調査でも自粛生活でコロナ疲れを「感じる」「やや感じる」と答えた人は7割を超え女性や若者の自殺も増えている。コロナ禍で増加する青年のメンタルヘルス不全について、事例を中心に紹介する。	松江テルサ 【松江市】	25名
21	9月29日 (木) 14:00～16:00	長時間労働者・高ストレス者への面談のポイント	・磯村 実 産業保健相談員 (島根大学 人間科学部 人間科学科 教授) 本研修では、厚生労働省がとりまとめた過重労働による健康障害防止のための総合対策をふまえ、脳・心臓疾患やメンタルヘルス不調等の早期発見や予防のために産業医が行う面談について事例をまじえながら解説する。	朱鷺会館 【出雲市】	25名
22	9月17日 (土) 14:00～15:30	あなたの会社でも「がん」の治療と仕事の両立支援 【Web開催】	・仲佐 葉生子 (島根産業保健総合支援センター 産業保健専門職・保健師) 就労世代のがん罹患率は、全体の3分の1近くを占め増加傾向にあります。これには、60歳以上の就労割合の増加、女性の就労割合の増加(乳がんの罹患率の増加と子宮頸がんの罹患の若年化)、医療の進歩による早期社会復帰の実現、などの背景があります。あなたの会社でも身近な課題である「がんの治療と仕事の両立支援」について実際の事例を交えてお話していきます。		

研修会申込書

研修NO22にお申込みの場合は、右欄QRコードから検索し申込み願います。FAXでお申込みの場合は必ずメールアドレスをご記入願います。申込後に事務局から研修会当日のアクセスURLを送付いたします。

お申込み後にキャンセルされる場合は、早めに連絡を頂きますようお願いいたします。(研修会当日の急なキャンセルについては除きます。)

希望 研修番号		職種 (○で選択)	1.医療職 2.衛生管理者 3.産業看護職 4.事業主 5.人事労務担当者 6.労働者 7.その他
氏名		TEL	() (自宅・勤務先)
勤務先 (住所)		FAX	() (自宅・勤務先)
メールアドレス	(研修NO22申込みの場合記入)		

島根産業保健総合支援センター FAX 0852-59-5881 TEL 0852-59-5801

最新の研修案内をメールマガジンで配信しています。メールマガジンの登録は下記ホームページからお申し込みください。

本用紙に記載された個人情報、産業保健活動総合支援事業の目的以外には使用いたしません。

島根産保

検索

